

浅間山麓

未来への 遺産

VOL.66



漂泊の俳人 山頭火

山頭火 信濃の旅

山頭火といえは「漂泊」の代名詞であるようだが、その山頭火は信濃を三度旅した。

1度目は昭和9年、このときは木曾から飯田を旅した。2度目は昭和11年、清里から野辺山に入り、岩村田に滞在した。御代田駅にも降り立ち、雄大な浅間を見た。3度目は昭和14年、伊那谷を旅した。

山頭火は、雄大な浅間がことのほか気に入ったよううで、浅間の句をいくつか残している。また、信州蕎麦がお気に入りだったようだ。もちろん、杯も重ね、信州の美酒を味わった。

山頭火の浅間の句をここで紹介しておく。

浅間したしいあしたでゆうべで

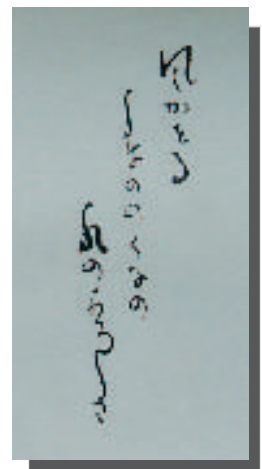
こんな蕎麦がうまい浅間のふもとにいる

浅間は千曲はゆうべはそぞろ寒い風

浅間をまへにまいにち畑打つてふてふ

浅間をむこうに深い水を汲みあげる

山頭火の信濃の旅を追う企画展が9月29日よりスタートとする。ぜひご覧いただきたい。



風かをるしなののくにの水のよろしさ

企画展 “山頭火 信濃の旅”

山頭火の信濃の旅を追う企画展です。ご覧ください。■9月29日(出)～11月25日(日)

御代田町の人口(9月1日現在)

●人口 14,307人(先月比-12) 男 7,155人 女 7,152人
●世帯数 5,585世帯(先月比±0) ●外国人登録者数 811人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田2464-2 ☎0267-32-3111



みよた広報やまゆりは、資源保護と環境保全のため、古紙配合率100%再生紙と大豆油インキを使用しています。

みよた広報 やまゆり10月号(28)